

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 1 年 5 月 9 日 (2019.5.9)

【公開番号】特開 2017-74302 (P2017-74302A)
 【公開日】平成 29 年 4 月 20 日 (2017.4.20)
 【年通号数】公開・登録公報 2017-016
 【出願番号】特願 2015-204560 (P2015-204560)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 31 年 3 月 19 日 (2019.3.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行う遊技機において、
 データを記憶可能な記憶領域を有する記憶手段と、
 前記記憶領域のうちプログラムの実行を許可する領域を設定可能な許可領域設定手段と

、
特定アドレスを上位アドレスとし、命令毎に指定されるアドレスを下位アドレスとして
、呼び出し対象のプログラムが格納されたアドレスを特定し、特定したアドレスのプログラ
ムを呼び出して実行する呼び出し手段と、

を備え、

前記記憶領域は、

第 1 制御に係る第 1 プログラムが記憶される第 1 プログラム記憶領域と、

前記第 1 プログラムが用いる第 1 データが記憶される第 1 データ記憶領域と、

第 2 制御に係る第 2 プログラムが記憶される第 2 プログラム記憶領域と、

前記第 2 プログラムが用いる第 1 データが記憶される第 2 データ記憶領域と、

を含み、

前記第 1 プログラム記憶領域は、前記記憶領域の先頭アドレスから第 1 アドレスまでの
領域であり、

前記第 1 データ記憶領域は、前記記憶領域の前記第 1 アドレスの次のアドレスから第 2
アドレスまでの領域であり、

前記第 2 プログラム記憶領域は、前記記憶領域の前記第 2 アドレスよりも後の第 3 アド
レスから第 4 アドレスまでの領域であり、

前記第 2 データ記憶領域は、前記記憶領域の前記第 4 アドレスの次のアドレスから第 5
アドレスまでの領域であり、

前記記憶領域の前記第 2 アドレスの次のアドレスから前記第 3 アドレスの前のアドレス
までの領域及び前記第 5 アドレスの次のアドレスから最終アドレスまでの領域は、全ての
領域に 0 が格納された未使用領域であり、

前記許可領域設定手段は、前記記憶領域の先頭アドレスから前記第 1 アドレスまでの領
域と前記第 3 アドレスから前記第 4 アドレスまでの領域の各々について前記プログラ
ムの実行を許可する領域として設定し、

前記特定アドレスは、前記第 1 プログラム記憶領域に含まれるアドレスの上位アドレスである、遊技機。

【請求項 2】

遊技を行う遊技機において、
データを記憶可能な記憶領域を有する記憶手段と、
前記記憶領域のうち格納されたデータへのアクセスを許可する領域を設定可能な許可領域設定手段と、

特定アドレスを上位アドレスとし、命令毎に指定されるアドレスを下位アドレスとして、呼び出し対象のプログラムが格納されたアドレスを特定し、特定したアドレスのプログラムを呼び出して実行する呼び出し手段と、

を備え、

前記記憶領域は、

第 1 制御に係る第 1 プログラムが記憶される第 1 プログラム記憶領域と、

前記第 1 プログラムが用いる第 1 データが記憶される第 1 データ記憶領域と、

第 2 制御に係る第 2 プログラムが記憶される第 2 プログラム記憶領域と、

前記第 2 プログラムが用いる第 1 データが記憶される第 2 データ記憶領域と、

を含み、

前記第 1 プログラム記憶領域は、前記記憶領域の先頭アドレスから第 1 アドレスまでの領域であり、

前記第 1 データ記憶領域は、前記記憶領域の前記第 1 アドレスの次のアドレスから第 2 アドレスまでの領域であり、

前記第 2 プログラム記憶領域は、前記記憶領域の前記第 2 アドレスよりも後の第 3 アドレスから第 4 アドレスまでの領域であり、

前記第 2 データ記憶領域は、前記記憶領域の前記第 4 アドレスの次のアドレスから第 5 アドレスまでの領域であり、

前記記憶領域の前記第 2 アドレスの次のアドレスから前記第 3 アドレスの前のアドレスまでの領域及び前記第 5 アドレスの次のアドレスから最終アドレスまでの領域は、全ての領域に 0 が格納された未使用領域であり、

前記許可領域設定手段は、前記記憶領域の先頭アドレスから前記第 5 アドレスまでの領域について一括して前記格納されたデータへのアクセスを許可する領域として設定し、

前記特定アドレスは、前記第 1 プログラム記憶領域に含まれるアドレスの上位アドレスである、遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

前記課題を解決するために、手段 A に記載の遊技機は、

遊技を行う遊技機において、

データを記憶可能な記憶領域を有する記憶手段と、

前記記憶領域のうちプログラムの実行を許可する領域を設定可能な許可領域設定手段と

、

特定アドレスを上位アドレスとし、命令毎に指定されるアドレスを下位アドレスとして、呼び出し対象のプログラムが格納されたアドレスを特定し、特定したアドレスのプログラムを呼び出して実行する呼び出し手段と、

を備え、

前記記憶領域は、

第 1 制御に係る第 1 プログラムが記憶される第 1 プログラム記憶領域と、

前記第 1 プログラムが用いる第 1 データが記憶される第 1 データ記憶領域と、

第 2 制御に係る第 2 プログラムが記憶される第 2 プログラム記憶領域と、
前記第 2 プログラムが用いる第 1 データが記憶される第 2 データ記憶領域と、
を含み、
前記第 1 プログラム記憶領域は、前記記憶領域の先頭アドレスから第 1 アドレスまでの
領域であり、
前記第 1 データ記憶領域は、前記記憶領域の前記第 1 アドレスの次のアドレスから第 2
アドレスまでの領域であり、
前記第 2 プログラム記憶領域は、前記記憶領域の前記第 2 アドレスよりも後の第 3 アド
レスから第 4 アドレスまでの領域であり、
前記第 2 データ記憶領域は、前記記憶領域の前記第 4 アドレスの次のアドレスから第 5
アドレスまでの領域であり、
前記記憶領域の前記第 2 アドレスの次のアドレスから前記第 3 アドレスの前のアドレス
までの領域及び前記第 5 アドレスの次のアドレスから最終アドレスまでの領域は、全ての
領域に 0 が格納された未使用領域であり、
前記許可領域設定手段は、前記記憶領域の先頭アドレスから前記第 1 アドレスまでの領
域と前記第 3 アドレスから前記第 4 アドレスまでの領域の各々について前記プログラムの
実行を許可する領域として設定し、
前記特定アドレスは、前記第 1 プログラム記憶領域に含まれるアドレスの上位アドレス
である。

上記課題を解決するために、本発明の手段 1 の遊技機は、
遊技を行う遊技機（スロットマシン 1）において、
データを記憶可能な記憶領域を有する記憶手段（ROM 41b、RAM 41c）と、
前記記憶領域のうち所定制御（プログラムの走行、データアクセス）を許可する領域を
設定可能な許可領域設定手段（メイン制御部 41 による HW パラメータに基づく設定）と

、
を備え、
前記記憶領域は、
遊技の進行に係る遊技プログラム（遊技プログラム）が記憶される第 1 記憶領域（遊技
プログラム領域）と、
前記遊技プログラムによって呼び出されるプログラムであり、遊技の進行に係わらない
非遊技プログラム（非遊技プログラム）が記憶される第 2 記憶領域（非遊技プログラム領
域）と、
前記第 1 記憶領域（遊技プログラム領域）及び前記第 2 記憶領域（非遊技プログラム領
域）のうち後方に割り当てられた後方記憶領域（非遊技プログラム領域）の手前の領域に
割り当てられた未使用領域（未使用領域 1）と、
を含み、
前記許可領域設定手段は、前記第 1 記憶領域（遊技プログラム領域）と前記第 2 記憶領
域（非遊技プログラム領域）の各々について前記所定制御（プログラムの走行、データア
クセス）を許可する領域として設定する
ことを特徴としている。

この特徴によれば、遊技の進行に係わる遊技プログラムが記憶される第 1 記憶領域と、
遊技プログラムによって呼び出されるプログラムであり、遊技の進行に係わらない非遊技
プログラムが記憶される第 2 記憶領域と、がそれぞれ別個に割り当てられているとともに
、第 1 記憶領域及び第 2 記憶領域のうち後方に割り当てられた後方記憶領域の手前の領域
に未使用領域が割り当てられているため、遊技プログラムと、非遊技プログラムと、を記
憶領域の違いに応じて容易に特定することができる。また、記憶領域のうち許可領域設定
手段により設定された領域のみ所定制御が許可されるとともに、第 1 記憶領域と第 2 記憶
領域の各々が所定制御を許可する領域として設定されるため、不正プログラムや不正デー
タによる意図しない制御が行われてしまうことを防止できる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

前記課題を解決するために、手段Bに記載の遊技機は、
遊技を行う遊技機において、
データを記憶可能な記憶領域を有する記憶手段と、
前記記憶領域のうち格納されたデータへのアクセスを許可する領域を設定可能な許可領域設定手段と、

特定アドレスを上位アドレスとし、命令毎に指定されるアドレスを下位アドレスとして、
呼び出し対象のプログラムが格納されたアドレスを特定し、特定したアドレスのプログラムを呼び出して実行する呼び出し手段と、

を備え、

前記記憶領域は、

第1制御に係る第1プログラムが記憶される第1プログラム記憶領域と、

前記第1プログラムが用いる第1データが記憶される第1データ記憶領域と、

第2制御に係る第2プログラムが記憶される第2プログラム記憶領域と、

前記第2プログラムが用いる第1データが記憶される第2データ記憶領域と、

を含み、

前記第1プログラム記憶領域は、前記記憶領域の先頭アドレスから第1アドレスまでの領域であり、

前記第1データ記憶領域は、前記記憶領域の前記第1アドレスの次のアドレスから第2アドレスまでの領域であり、

前記第2プログラム記憶領域は、前記記憶領域の前記第2アドレスよりも後の第3アドレスから第4アドレスまでの領域であり、

前記第2データ記憶領域は、前記記憶領域の前記第4アドレスの次のアドレスから第5アドレスまでの領域であり、

前記記憶領域の前記第2アドレスの次のアドレスから前記第3アドレスの前のアドレスまでの領域及び前記第5アドレスの次のアドレスから最終アドレスまでの領域は、全ての領域に0が格納された未使用領域であり、

前記許可領域設定手段は、前記記憶領域の先頭アドレスから前記第5アドレスまでの領域について一括して前記格納されたデータへのアクセスを許可する領域として設定し、

前記特定アドレスは、前記第1プログラム記憶領域に含まれるアドレスの上位アドレスである。

本発明の手段2の遊技機は、

遊技を行う遊技機（スロットマシン1）において、

データを記憶可能な記憶領域を有する記憶手段（ROM41b、RAM41c）と、

前記記憶領域のうち所定制御（プログラムの走行、データアクセス）を許可する領域を設定可能な許可領域設定手段（メイン制御部41によるHWパラメータに基づく設定）と

を備え、

前記記憶領域は、

遊技の進行に係る遊技プログラム（遊技プログラム）が記憶される第1記憶領域（遊技プログラム領域）と、

前記遊技プログラムによって呼び出されるプログラムであり、遊技の進行に係わない非遊技プログラム（非遊技プログラム）が記憶される第2記憶領域（非遊技プログラム領域）と、

前記第1記憶領域（遊技プログラム領域）及び前記第2記憶領域（非遊技プログラム領域）のうち後方に割り当てられた後方記憶領域（非遊技プログラム領域）の手前の領域に

割り当てられた未使用領域（未使用領域１）と、
を含み、

前記第１記憶領域（遊技プログラム領域）及び前記第２記憶領域（非遊技プログラム領域）のうち前方に割り当てられた前方記憶領域（遊技プログラム領域）から前記後方記憶領域（非遊技プログラム領域）までの領域について一括して前記所定制御（プログラムの走行、データアクセス）を許可する領域として設定することを特徴としている。

この特徴によれば、遊技の進行に係わる遊技プログラムが記憶される第１記憶領域と、遊技プログラムによって呼び出されるプログラムであり、遊技の進行に係わらない非遊技プログラムが記憶される第２記憶領域と、がそれぞれ別個に割り当てられているとともに、第１記憶領域及び第２記憶領域のうち後方に割り当てられた後方記憶領域の手前の領域に未使用領域が割り当てられているため、遊技プログラムと、非遊技プログラムと、を記憶領域の違いに応じて容易に特定することができる。また、記憶領域のうち許可領域設定手段により設定された領域のみ所定制御が許可されるとともに、第１記憶領域及び第２記憶領域のうち前方に割り当てられた前方記憶領域から後方に割り当てられた後方記憶領域までの領域が一括して所定制御を許可する領域として設定されるため、不正プログラムや不正データによる意図しない制御が行われてしまうことを防止できる。